

会場アクセス

●会場

つくば市役所2階 会議室201

所在地:茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

Tel.029-883-1111

●交通案内

【お車をご利用の方】

常磐道 谷田部インターから 約15分

圏央道 つくば中央インターから 約10分

【電車をご利用の方】

つくばエクスプレス「研究学園駅」から 徒歩7分

詳細はつくば市役所ホームページをご確認ください。



つくば市役所 アクセス

検索

お申込み・お問い合わせ

申込方法：参加を希望される方は、事前に電話、FAX、メールのいずれかで事前にお申し込みください。

交流会参加（1000円）を希望される方は合わせて事前にお申し込みください。

つくば発先端技術発表会 つくば発イノベーション第28回講演会（9/8）参加申込書

会社名／団体名			
所在地／住所			
電話番号			
メールアドレス			交流会出欠
お名前	所属・役職	氏名	参加・不参加
	所属・役職	氏名	参加・不参加
	所属・役職	氏名	参加・不参加

※先着順で受付いたします。なお定員は100名です。
※「交流会」の項目は、参加・不参加 を○で囲って下さい。
※ご記入いただいた内容は、つくば市、(独)産業技術総合研究所、(株)常陽銀行、(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構が取得・管理し、次の目的のみに使用いたします。

1. 本イベントに関連するご連絡
2. 上記4者からイベント等のご案内

【お申込み・お問い合わせ先】 次のいずれかにご連絡ください。

(独)産業技術総合研究所 業務推進支援部 (担当 金子)

Fax.029-861-2179 TEL.029-861-3978

メール .tsukuba-innovation-ml@aist.go.jp

(株)常陽銀行 地域協創部 (担当 白石)

Fax.029-300-2606

つくば発先端技術発表会 つくば発イノベーション第28回講演会

つくば発ベンチャー企業による イノベーション推進

～ビジネスモデルと支援制度及びその事例～

つくば市と(独)産業技術総合研究所は、科学・技術に関する“日本の英知”が集積するつくばにおいて、研究シーズや事例の発表を通し、成果を社会へ還元すると共に、つくばの産業力強化・イノベーション創出を実現します。

今回は、(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構、(株)常陽銀行との共催により、研究開発型ベンチャーの創業事例やビジネスモデル、支援制度等をご紹介します。

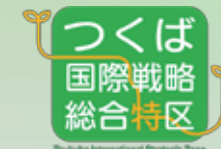
『イノベーション創出のフィールド』『技術開発の街』として、つくばの可能性を大いに感じていただきたいと思います。

開催日時 平成26年9月8日(月) 15:00～18:30(開場 14:30)

開催場所 つくば市役所2階 会議室201

定員 100名

参加費用 無料(交流会は1,000円)



- 主催 つくば市、(独)産業技術総合研究所
- 共催 (株)常陽銀行、(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構
- 後援 茨城県、(株)つくば研究支援センター

スケジュール・講演者

司会：産総研 つくばセンター 次長 永壽 伴章

15：00～ 開 会

15：00～15：10 開会挨拶

つくば市 市長
市原 健一



産総研 副理事長
金山 敏彦



15：10～15：50 基調講演



「つくば（TX沿線）発ベンチャー企業によるイノベーション推進」

独立行政法人 産業技術総合研究所 企画本部総合企画室 産業技術調査企画員（内閣府出向中）
筑波大学大学院システム情報工学研究科非常勤講師

木村 行雄

「日本のシリコンバレー」的な位置づけとして、つくば及びTX沿線に対するイノベーションの活性化、ベンチャー企業設立・育成に対する期待は大きいです。今回はTX沿線における企業育成拠点、三井不動産による柏の葉における活動、筑波大のベンチャー創出の取り組みやその実行例を紹介します。今後、つくば及びTX沿線の都市がどのような取り組みを行うことが、研究開発と産業振興、起業を相乗的に展開できるかの提言を行います。

15：50～16：10 ベンチャー企業起業事例①



「「非破壊検査」により安全安心な社会を構築」

つくばテクノロジー株式会社
代表取締役社長

王 波

つくばテクノロジーは、2005年創業後、レーザー超音波可視化検査装置と小型X線検査装置などの非破壊検査装置を開発・製造・販売しています。また、医療装置の開発も行っています。2012年に日本非破壊検査協会より優秀解説賞、2014年に中小企業基盤整備機構より中小機構理事長賞、常陽ビジネスアワード優秀賞（つくば特別賞）を授賞しました。
今回は会社立ち上げから現在までの経緯及び今後の事業計画を紹介します。

16：10～16：30 ベンチャー企業起業事例②



「セルメディシン株式会社の紹介」

セルメディシン株式会社
代表取締役社長

大野 忠夫

がん治療用に「自家がんワクチン（AFTVac）」を開発している理研発／筑波大発の小型ベンチャー企業です。がんの手術後、病理診断用の残りのホルマリン固定がん組織そのものを原料にしているのが特徴で、これまでの臨床研究では、肝がん、脳腫瘍の再発抑制効果が期待できる結果を得ており、既存治療と併用すれば乳がん骨転移も治療できます。企業としての生存戦略・超ハイリスク・今後の方向性について簡潔に紹介したいと思います。

16：30～16：50 コーヒーブレイク（ベンチャー企業パネル・製品紹介）

16：50～17：00 支援制度紹介①



「競争的研究開発資金を活用した「産学官連携プロジェクトと製品化」

株式会社 つくば研究支援センター 研究支援部
次長

高田 青史

つくば研究支援センターは、国・県・市及び地域の産業支援機関と連携してベンチャー企業や地域の中小企業の支援を行っています。当社では地域の中小企業や研究機関の経営者・技術者・研究者などからご相談を受け、適切な競争的研究開発資金をご紹介します、申請書類作成からプロジェクト管理、事業化・販路開拓まで総合的に支援しています。その流れと産学官連携による製品化の具体例についてお話しします。

17：00～17：10 支援制度紹介②

「常陽銀行の創業・ベンチャー企業支援について」

株式会社 常陽銀行 地域協創部
次長

関 敏幸



常陽銀行では、本年4月より「未来協創プロジェクトPLUS」を立ち上げ、事業者の皆様への様々なご支援に取り組んでおります。「未来協創」とは正に、「未来を皆様と協力して創造していく」ということを意味しております。本プロジェクトの一環として、「常陽ビジネスアワード」を核としたベンチャー企業支援、革新的・創造的な事業プランの実現に向けたご支援を展開しております。何かご相談等がございましたら、是非常陽銀行をご用命ください。

17：10～17：20 支援制度紹介③

「事業継続計画（BCP）策定支援について」

ニュートン・コンサルティング株式会社（茨城県のBCP策定支援事業 受託事業者）
コンサルタント

小野 健一

茨城県におけるBCP普及啓発セミナー及び策定支援をご紹介します。

17：20～17：25 閉会・総括 つくば市理事 森 和男

17：30～18：30 交流会（名刺交換会）